



あか みね けん じ
赤 嶺 謙 二

質

平成23年1月、福岡高裁において、市職員への誹謗・中傷事件の和解が成立した。市は、どのように考えているのか、伺う。

答
総務部長

元市職員は平成22年10月21日、市職員は平成23年1月6日に被告女性と和解をしています。

市職員との内容は、「被告は、和解金として150万円支払う」、「名誉毀損行為があったことを認め、これを謝罪する。」を柱としたものでした。

今回の和解により、民事上は一応の終結となりましたが、人権侵害は看過できるものではないことから、人権意識・倫理意識の高揚に取り組んでいく必要性を改めて感じています。

人権侵害の総括を問う

～信賞必罰の立場で対応～

質

現段階での、市調査委員会の認識と今後の取り組みは。

答
総務部長

平成21年6月に内部調査委員会を設置し、平成23年3月までに17回の委員会を開催し、犯人である女性などから聞き取りを行い、中間報告として取りまとめています。

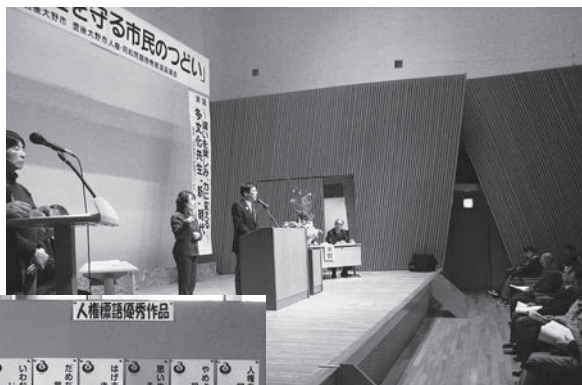
裁判で名前が出た市職員については、公務員としての社会的、道義的責任に照らして、どのような対応をすべきか内部協議を行っています。

質

今回の事件は、でっちあげによる極悪非道の人権侵害である。二度とこのような事件が起こらないために、何が必要か。

答
総務部長

判明した事実を基に、必要があれば「信賞必罰」の立場で、対応してまいりたいと考えています。



人権を守る市民のつどい



人権標語と人権ポスター

マイエンザで環境浄化を

～家庭で使って効果を実感～



たか やま とよ よし
高山豊吉

質

環境浄化に役立つマイエンザへの市の現在の取組状況と、今後の方策は。

答

生活環境部長

今回、市が自然環境浄化事業として、環境浄化微生物活性剤マイエンザを使った事業を、合併処理浄化槽の設置の推進の補完的な事業として市内全域で展開しています。



マイエンザを製造中

今後につきましては、マイエンザのさらなる浸透を図るために、出前講座や説明会などを通じて啓発活動を進め

るとともに、マイエンザの商品化も視野に入れた事業展開を行ってまいりたいと考えています。

文化財の活用を

～ツーリズムの振興を目指します～

答
市長

磨崖仏、石仏、石橋などの石造文化財は、ほかに類を見ないほど豊富であり、まさに地域資源そのものであります。

地域資源の一つとして、案内板や道路など、周辺環境の整備を計画的に進めてまいりたいと考えています。

答
教育長

寄りつき条件などの整備につきましては、教育委員会が直接携わっていない状況ですが、今後は関係部局とも連携を図りながら周辺整備を検討してまいりたいと考えています。

質

市内に数多くある石造文化財を生かすべく、寄りつき条件などの工夫、改善の視点に基づく環境整備に、さらに取り組むべきでは。



国指定重要文化財の虹潤橋 (三重町)